

ボランティア活動報告

写真：谷川毅（ボランティア）

文：岡野香子（スタッフ）

～ イベントスタッフ ～

3/20 ボランティア講習会



毎年3月に実施しているボランティア講習会。午前中は座学、午後は実際の活動を行ないます。午前中の座学では、宮島沼の基本的な知識だけでなく、「人に伝えるとは」「野鳥を識別

するための基本知識」など、毎年違う内容でお届けしていますので継続ボランティアさんも必見の内容です。午後は、除雪班と展示作り班に分かれて作業しました。藤巻先生！いつも面白い講義をしてくださり、ありがとうございます。

4/7 たっぷり雁観会

毎年、春秋の恒例行事となりました、たっぷり雁観会。特に春は、3月末には満員御礼となってしまうほど人気のイベントです。「ねぐら入り観察→美唄産食材を使った食事→夜の講習会→ねぐら立ち観察→米粉パンの軽食」と内容も盛りだくさんなので、お勧めイベントなのですが、実はスタッフはてんてこまい。そんな時に、当然のようにヘルプに来て下さる谷川さんの存在には、毎度、とても助かっています。美唄の歴史や、美唄焼き鳥のお話など、ふと語ってくださる地元の小話は参加者にも好評です。今回は、4月にボランティア登録してくれたばかりの麦子さんも駆けつけてくれました。「何も分かりませんが」とおっしゃっていましたが、望遠鏡を持ってもらったり、双眼鏡を回収してもらったり、スタッフとして一緒に動いてもらえるだけで大助かりです。本当にありがとうございました！

5/16 ふゆみずたんぼ in 宮島沼



ふゆみずたんぼ in 宮島沼も3年目を迎えました。毎年5月には山菜の天ぷらを食べるのですが、スタッフがどこまで段取りをして、どこからオーナーさんに楽しんでもらうか、毎年試行錯誤が続きます。そんな時、フキの煮物や地元産野菜のサラダなどを教えてくれるのが、セツ子さん。お手伝いに顔を出し、アドバイスをしてくださるのが、みさおさん。未熟な私のお母さん、お姉さんです。今年は少しだけ趣向を変えて「オーナーさん自ら採集」し、「天ぷらを挙げ」てもらいました。皆さんの手を借りて、大盛況で終わった、と思います！

3～4月 除雪・・・

今年の春はいつまでたっても雪がふり、除雪にとっても苦労しました。春先の雪は水分を含み、除雪機が動かなくなる時もあり。。。そんな困った私を見て、ふらっと来て下さるのが、土谷さん、もっくん！毎回、力仕事にげえげえしている私を助けてくださって、ありがとうございます。

いろいろ・・・



顔を見に来てくださった松田さんに「展示ホールのスライドが・・・」と相談したところ、さくさくっと直して下さいました。大工仕事の得意な男性は本当に頼りになります！

楽しい展示を作りたいな～と言っていたら、New Faceの麦子さんが一緒に作業をしてくれました。作ったのはおばあちゃんに教わった米俵。少々いびつになってしまいましたが、なかなかの出来具合です。

古びてしまった手作り展示・わら布団の修理を手伝ってくれたのは、谷川さん、大ちゃん、セツ子さん。地味な作業の割りに大変でした…。でも子供も大人も楽しそうに寝転がっているの、修理できてよかったです。

マガン飛来期前のトレイル整備（トラロープはり、マナー看板設置、ゴミ拾い）にかけつけてくれたのは、もっくん、金子さん、井上さん、太田さん、みさおさん、マガレンジャーの子供たち。地域の農家・小松さんも「ちょっとの時間しか、、、」と言いつつ顔を出して下さいました。

春季・宮島沼写真展の展示&撤去作業には、尾田さん、もっくん、松田さん。タイミングを逃してしまった冬囲い撤去作業。マガンが去ったらやるか。。。とほつたらかしにしていたら、「やっといたからね～」と城田さん。

マガン飛来期に大活躍してくださるのは、谷川さんともっくんと尾田さん、松田さん！来館者でよかったがえしているセンターや野外（突堤）でマガンの解説をしてくださったり、野鳥観察をする際のマナーなどを解説してくださったり。「さっき外で望遠鏡をのぞかせてもらっちゃった」と館内に戻ってきて、わざわざ私に教えてくれる方がいるくらい大好評です。

ふらふらになりながら春のマガン調査に協力してくれた舞子ちゃん、熊ちゃんもありがとう！

ボランティアの皆様、いつもありがとうございます。